



平成23年8月11日

各 位

会 社 名 昭和ホールディングス株式会社  
代表者名 代表執行役社長 重田 衛  
(コード番号 5103 東証第二部)  
問合せ先 執行役財務総務担当 庄司 友彦  
(TEL. 04-7131-0181)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

当社の平成24年3月期第1四半期決算を確定するにあたり、当第1四半期累計期間に発生いたしました事案及び、昨今の業況等を踏まえ、平成23年5月13日に公表いたしました業績予想を下記のとおり修正することといたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 連結業績予想数値の修正 (単位:百万円)

24年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正 (平成23年4月1日～平成23年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	1,890	△122	△127	△140	△2.98
今回修正予想 (B)	2,940	128	1,757	2,981	64.09
増減額 (B - A)	1,050	250	1,884	3,121	
増減率 (%)	55.6	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	1,656	△227	△593	△596	△12.83

24年3月期通期連結業績予想数値の修正 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	3,780	△245	△253	△280	△5.96
今回修正予想 (B)	6,760	555	2,124	2,884	62.00
増減額 (B - A)	2,980	800	2,377	3,164	
増減率 (%)	78.8	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	3,361	△547	△971	△3,260	△70.08

## 2. 個別業績予想数値の修正

24年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正（平成23年4月1日～平成23年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	132	—	△37	△41	△0.87
今回修正予想（B）	147	—	1,619	1,615	34.72
増減額（B－A）	15	—	1,656	1,656	
増減率（％）	11.4	—	—	—	
（ご参考）前期実績 （平成23年3月期）	—	—	—	—	—

24年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	265	—	△73	△83	△1.77
今回修正予想（B）	310	—	1,613	1,603	34.47
増減額（B－A）	45	—	1,686	1,686	
増減率（％）	17.0	—	—	—	
（ご参考）前期実績 （平成22年3月期）	265	△55	△459	△3,493	△75.11

## 3. 修正の理由

当社には、当四半期連結累計期間において重要な子会社の異動が発生いたしました。

まず、大阪証券取引所ヘラクレス市場に上場している株式会社ウェッジホールディングス（以下「ウェッジ社」といいます。）につきましては、当該会社の株式42.09%を当社が担保物件として預っておりましたので、平成23年5月30日に担保権を実行し、既に当社が保有していた当該会社の株式と合わせるとウェッジ社の株式を50.5%保有することとなりましたので当社の連結子会社となりました。（詳細につきましては、5月31日付「株式会社ウェッジホールディングスの株式の取得（子会社化）に関するお知らせ」をご確認ください。）

さらに、和菓子及び中華惣菜の製造販売を行う明日香食品株式会社及び明日香食品工業株式会社の2社（以下、明日香食品株式会社と明日香食品工業の2社を合わせ「明日香食品等」といいます。）につきましては、その効力発生日は平成23年7月1日からとなりますが、当該会社の普通株式を49%を取得することで明日香食品等を当社の持分法適用の関連会社化することといたしました。（詳細につきましては、6月3日付「明日香食品㈱、明日香食品工業㈱の2社の株式の取得（持分法適用の関連会社化）に関するお知らせ」をご確認ください。）

上記の重要な子会社等の異動により、これまで当社グループの主な事業は、ゴム製品の製造販売、及び、スポーツ用品の製造販売でありましたが、これらにウェッジ社と明日香食品等のコンテンツ事業、ファイナンス事業、食品事業が加わることとなり、当社グループの業態・収益構造も大幅に変わることとなりましたので、それに伴い本日業績予想の修正を行うことといたしました。

まず、連結売上高につきましては、当第1四半期連結累計期間末からウェッジ社が連結子会社となりますので、第2四半期からは、当社グループにウェッジ社の売上高が加算されることとなりますので、その分連結売上高が増加することとなりました。

連結営業利益につきましても、ウェッジ社の売上高の加算に伴う営業利益の増加により営業利益も予想以上に増加することとなりました。

又、連結経常利益につきましては、平成23年7月1日から持分法適用の関連会社となる明日香食品等ののれんの償却費が発生いたしますが、上記ウェッジ社の連結子会社化による増益に加え、前期末に当社が計上した債券の未償還債権に伴う貸倒引当金について、債権の回収及び担保権の実行に伴う回収により、多額の貸倒引当金戻入額（1,641百万円）が発生することとなりましたので大幅な増益となることとなりました。

さらに、連結当期純利益につきましては、上記に記載させていただきましたウェッジ社の連結子会社化による増益、明日香食品等の持分法損益及びのれんの償却額、貸倒引当金戻入額（1,641百万円）の影響に加え、ウェッジ

社の連結子会社化に伴う負ののれんの発生益（1,435百万円）が発生されることとなりましたので、これまでの業績予想の数値を大幅に上回見込みです。

尚、上記に記載させていただきました貸倒引当金戻入額（1,641百万円）及び、負ののれんの発生額（1,435百万円）の詳細につきましては、平成23年8月4日付「営業外収益（貸倒引当金戻入額）の計上に関するお知らせ」及び、平成23年8月8日付「特別利益（負ののれん発生益）の計上に関するお知らせ」をご確認ください。

一方、個別売上高につきましては、連結子会社、持分法適用の関連子会社の増加に伴う経営指導料の増額の影響により増加する見通しであります。

又、個別経常利益、個別当期純利益につきましては、上記経営指導料に加え、連結経常利益の増額理由と同様に、前期末に計上した債券の未償還債権に伴う貸倒引当金について多額な貸倒引当金戻入額（1,641百万円）が発生いたしましたのでそれぞれ大幅な増額となる見込みです。

（業績予想に関する留意事項）

本資料における予想は発表日において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の事業環境の変化により実際の業績が異なる可能性があります。

以 上